

●交流タイム

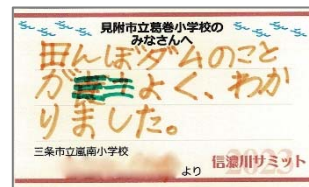
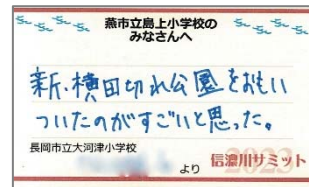
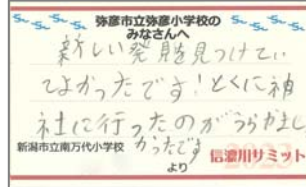
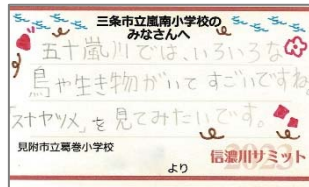
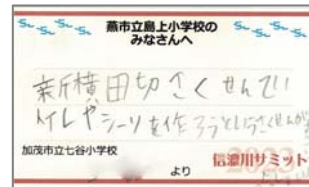
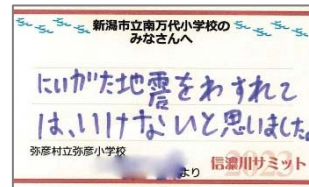
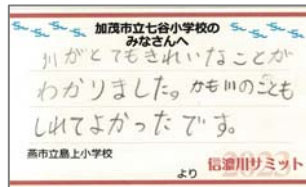
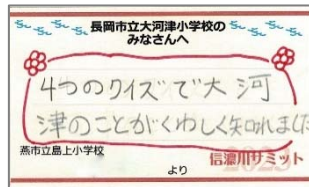


発表の合間には交流タイムが設けられ、発表した学校へ聴講していた小学生から感想やメッセージを伝えてもらいました。



「発表がとてもわかりやすかった」「いろいろな体験をしているのがすごいと思った」など、様々なメッセージが伝えられました。

●メッセージカード



●記念撮影



素晴らしい発表をありがとうございました！

# 信濃川サミット2023

信濃川などの「川」をテーマに、学習成果や未来の理想の川について小学生が発表する「信濃川サミット2023」を開催しました！



期日：令和5年11月22日(水)14:00~16:00  
 会場：燕三条地場産業振興センターリサーチコア マルチメディアホール  
 発表：長岡市立大河津小学校、三条市立嵐南小学校、加茂市立七谷小学校、弥彦村立弥彦小学校、新潟市立南万代小学校、燕市立島上小学校、見附市立葛巻小学校（発表順）  
 参加：110名  
 主催：信濃川下流域連絡会  
 新潟市、長岡市、三条市、加茂市、見附市、燕市、五泉市、弥彦村、田上町、新潟県国土交通省信濃川河川事務所、国土交通省信濃川下流河川事務所  
 協賛：（一社）北陸地域づくり協会

発表してくれた小学生のほか、保護者の皆様、先生方、自治体職員など大勢の方々が会場で小学生の発表に耳を傾けていました。



会場の玄関ホールに掲示したポスター。当日は学校関係者に限定しライブ配信も行いました。



発表を前に少し緊張した様子の小学生の皆さん。リハーサルを終えると「いよいよだね！」と笑顔が広がっていました。

●長岡市立大河津小学校「未来へつなぐ大河津分水」



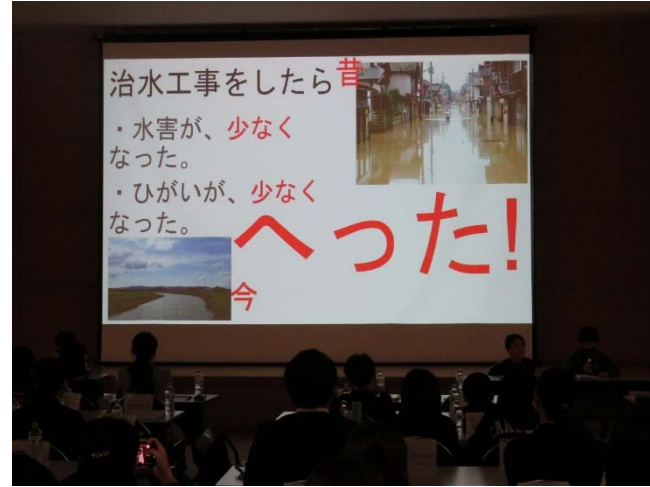
国土交通省の職員や工事現場で働く方々へのインタビュー結果をクイズに仕立て紹介してくれた皆さん。「令和の大改修の工事で1番の難関は？」との問いに「正解は川の中が見えないことです！」と伝えると「本格的な内容だな」との声が聞かれました。



## ●三条市立嵐南小学校「五十嵐川と共に生きる」



松尾与十郎や7.13水害のこと、そして川の水質や水辺の生き物などの調査を通じて、五十嵐川の怖さと豊かさを学び「治水」と「共生」の大切さを示してくれた皆さん。「信濃川と五十嵐川の合流地点に遊水地をつくってはどうか?」と具体的な治水対策も提案してくださいました。



## ●新潟市立南万代小学校「川が流れるまちがすき『新潟地震を忘れない』かたりペプロジェクト」



学校に保管されていた新潟地震の体験が刻まれた版画をきっかけに、信濃川と新潟の街の未来を考えてくれた皆さん。水害や地震を乗り越えてきた人々の経験が海外の被災地にも役立つのでは?、とトルコとの交流にも発展。「私達は世界の平和のかけ橋となる!」と強い気持ちも話してくださいました。



## ●加茂市立七谷小学校「加茂川の自然を伝えよう」



加茂川での調査でサワガニやヤマメが見られたこと、高い透視度で加茂川のキレイさを体験したことを発表し、加茂川の素晴らしさを未来に繋げるために、川のゴミを減らすこと、新聞社や加茂市からも協力いただいて加茂川の魅力を多くの方々に発信したらよいと提案してくださいました。



## ●燕市立島上小学校「新・横田切れ公園作戦」



大水害の横田切れの跡が残る地域のお宅を訪ねたり、信濃川をウォーキングすることで気づいた「現地を感じる」の大切さ。そこで、横田切れ公園に多くの人たちから来てもらうために、公園内にクイズを設置したり、石碑に看板を建てたり、水道やトイレを作る「新・横田切れ公園」を提案してくださいました。



## ●弥彦村立弥彦小学校「大河津分水と彌彦神社の関わり」



弥彦村と大河津分水に深い繋がりがあることに着目し、彌彦神社にある大河津分水との繋がりを探したり、菊まつりに出展しPRしたりする中で「災害のない新潟」を考えるようになった皆さん。その願いを絵馬に書いて奉納したことなども紹介してくださいました。



## ●見附市立葛巻小学校「川とともに生きる・仲間とともに生きる」



刈谷田川の洪水や浸水のリスクを抑える「遊水地」、「田んぼダム」の取り組みを学び、7.13水害で見附の人たちがとった「助け合い」の行動に着目した皆さん。川とともに生きる、仲間とともに生きる大切さに気づき、日頃から自然や地域に関わることを、まわりの人達と協力することを発表してくださいました。

